

行政評価システムの運用状況は

木場田孝幸議員

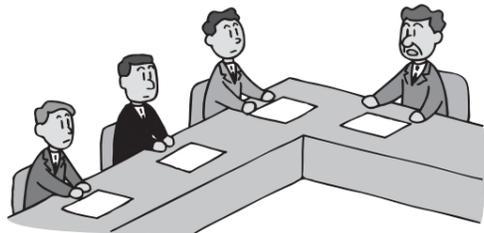


木場田 市長として、現時点での行政評価システムについての見解は。

市長 本市の行政評価システムの特徴は、総合計画と連動した行政評価の仕組みを構築したいということであろうと考えております。このシステムを仕事に使いこなす職員をいかに育てるか、そのことが、次の問題、課題と考えています。

委員会等が51件ほどあるので、市長からも統廃合を検討するように指示されている。また委員選任時に重複しないように検討したい。

市長 相手の団体等に対し失礼の無い程度で女性の方の参加や会長さん以外の方の参加をお願いしたり、なるべく多くの方々に委員会等に入って頂けるように配慮していきたい。



木場田 今後、合志市に合った評価方法を、また行政を運営するなかで、運用しやすいマニュアルシートを作成するべきでは。

総務企画部長 今まで構築した基本的な仕組みを、点検し、修正、検討しながら本市独自のシステムとして、バージョンアップしていくよう努めなければならぬかと、考えています。

各審議会等の人選について

木場田 各審議会等の人選について、多くの意見を聞くために重複人事を出るだけやめて、多くの市民の方に、参加して頂くようにできないか。

総務企画部長 現在、審議会、協議会、

教育行政について

丸内三千代議員



丸内 熊本市政令指定都市に向けて合志市に關係する教職員の任免権問題である。熊本市教育長は、人事交流は大きな課題であり、本年度中に方針を示す。として、情報収集しているのか。

教育長 教職員の採用、異動については重大な関心を持っている。懸念する事については、県教委に指摘する。

教育委員長 教員の採用権が熊本市に委譲される事で熊本市に有能な人材が集中する可能性がある。その事により県教委採用の人材が不足を子ども達の授業に影響が出ると思う。

丸内 合志市の児童、生徒に影響が考えられるが、市長として県へのアプローチをどうしていくのか。

市長 義務教育の問題として非常に心配している。当面10年位は人事交流を継続していくのではないかと話です。その間、課題がクリアできたらと思っています。

宅地開発について

丸内 街の形成を大きく変える大型

開発については土地利用計画書との整合性、市の体力及び市民の意見を聞きながら開発を行うべきであるが。

市長 開発はその地域の顔である。規模の大きいものは地区計画で、集落内開発は小さい面積での限られた件と認識している。

雨水対策について

丸内 大型開発が進みここで降った大雨は、下流の地域へと濁流が流れ込み、大池住民の大きな悩みである。対応を伺う。

水道局長 大池地域の雨水計画については、平成23年度に社会資本整備総合交付金事業で取り組むために国に要望している。



雨水排水管

新学校給食センターでは生野菜・果物の提供を！

坂本 早苗議員



坂本 学校給食センターの建替え工事が来年度から始まるが、どこまで決まっているのか。

教育部長 合志小学校跡地に6千㎡の敷地を確保し、2千㎡以内の建物を計画している。完全ドライ方式で3500食対応の施設となる。

坂本 厨房設備、冷暖房、太陽光発電の設置などについては

教育部長 厨房設備についてはオール電化を含め3つの方式を検討中。空調設備は必ず必要、太陽光発電は建設予算内で設置できればつけたいと考えている。

坂本 現在の給食センターでは生野菜やカットした果物は使われていない。同じ合志市の自校方式の学校では地元のスイカ・メロン・マンゴーなどが提供されている。新しい施設では可能になるのか。

教育部長 ラインを別にして処理する計画なので生野菜・カットした果物の提供も可能になると考えている。

消費生活センター相談窓口の改善を！

坂本 合志市消費生活センターは今



消費生活センター看板

坂本 相談窓口がわかりにくいことを指摘しようと思っていたが、質問前に総務課に消費生活センターの看板が設置された。春早い対応は評価するが、もともと落ちていて相談できる場所ではない。ほかの相談事業とあわせて場所の設定ができないか。

総務企画部長 検討したい。

第4回 菊池地域議会議員親善スポーツ大会

8月21日(土)、菊池地域議長会主催の親善グラウンドゴルフ大会が、大津町運動公園球技場で開催されました。この大会は、スポーツを通じて菊池地域2市2町の議会議員相互の親睦と融和、健康増進をはかるもので、約60人が参加しました。

- 1位 大津町
 - 2位 菊陽町
 - 3位 菊池市
 - 4位 合志市
- ホールインワン賞
- ・今村直登 議員
 - ・尾方洋直 議員



開会式



プレー風景